

平成 30 年 5 月 11 日
クミネ工業株式会社

取締役会の実効性に関する評価結果の概要

当社取締役会は、平成 30 年 3 月期を評価対象期間として、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施しましたので、その評価結果の概要を公表いたします。

1. 評価の実施要領

対象者	平成 30 年 3 月時点での全取締役（計 9 名）
実施方法	全取締役を対象とした無記名式アンケート
質問内容	取締役会の構成・取締役会の運営・社外役員に対する情報提供等に関する設問および自由記載によるアンケート
評価方法	アンケート結果を集計・分析したうえ、取締役会において評価および課題を確認

2. 評価結果の概要

当社取締役会は、以下の観点から、取締役会の役割を適切に果たし、取締役会の実効性は全体として概ね確保されていることを確認しました。

- 1) 取締役会の構成および運営（人数の規模、社外取締役の割合、開催頻度、審議事項の数、知識・経験・能力等のバランス等）は、適切に確保されている
- 2) 社外を含むすべての取締役が、その多様な経験、専門性にもとづいて建設的な議論を行い、審議している

また、前年度に課題として認識しました I R・S R へのメッセージとしての施策等では、東証一部上場を契機に多くのホルダーを獲得するなど、積極的な活動が評価されました。

一方、取締役会の実効性をさらに高めるため、以下の事項を課題として認識しました。

- 1) 社外を含む一部の取締役の就任期間が長期化していることもあり、ダイバーシティを意識した取締役の招聘が求められる
- 2) 中長期的な経営課題や事業戦略の方向性など、多角的な検討等を一層充実させることにより建設的議論を一層深めることが必要である

3. 今後の対応

当社は、上記の分析・評価を踏まえまして、取締役会の実効性のさらなる向上を目指し、課題の改善に努めてまいります。

また、評価の方法等の改善を検討し、ガバナンス体制の一層の強化を図ってまいります。

以 上